

# 感染症情報

3月25日～31日(第13週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。  
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	流行中です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★★	→	コンスタントにみられます
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★		
⑮	上記(⑩⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★		
⑯	RSウイルス感染症	★★★	↑	増加中です
⑰	インフルエンザ	★★	↓↓	急速に減少中です
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	↓	少なくなりました
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★★★	→	コンスタントにみられます
⑳	その他のかぜ症候群	★★		不明の感染症があります

「溶連菌感染症」「RSウイルス感染症」が流行中です。「溶連菌感染症」は真夏には減少しますがもうしばらくは多いと思われます。「RSウイルス感染症」は従来は秋先から増えるのですが3年前からは春先から増加する傾向があり夏頃まで続きそうです。

「感染性胃腸炎」「ヒトメタニューモウイルス感染症」もコンスタントにみられています。まだまだだらだらと続くと思われます。

インフルエンザB型は第6週(2月初旬)にピークを迎え、現在急速に減少傾向です。今後ほとんどみられなくなるのか、昨年のようにだらだらと続くのかはわかりません。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は現在第10波ですが、やはり第6週をピークに減少傾向です。この先はほとんど見られなくなる可能性が高いですが、次の流行がどうなるかは予測できません。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある